

合併しない町づくり議論を恐れるな



住民のための

太田 薫 議員

行政システム構築を目指す

問 合併を前提にしたメリット・デメリット論の中から、真の分権型社会に向けた本町の未来が見えてくるだろうか。合併しない町を想像することによって住民が何をすべきかが見えてくるのだと思う。

これは合併後に目指す住民自治の核になる考えであり、合併議論は両極面から同時進行すべきである。それをおそれてはいけない。町は合併推進の立場から官主導的になり、合併しない町づくり論



合併協議会風景

を封じるような雰囲気づくりをしなかったか。**町長** 分権時代を迎え、地域の社会形成を目指し、自立した地域社会の創造が今後

の大きな課題である。これまで住民への合併説明会を三回開催し、率直な意見をいただいたことを重く受け止めている。平成の合併は、それぞれが抱える多くの課題を乗り越え、住民の目線に立ち、住民主体のまちづくりを基本に住民と行政との協働の推進を図る行政システムの構築を目指している。合併議論についても、何もひるむことも恐れることもなく、惑わず、たゆまず住民の未来を考え、説明や議論を重ねて参りたい。

